

別 添

新型コロナウイルスの 集団感染が発生した 病院・施設における対応

愛知県新型コロナウイルス感染症調整本部

医療体制緊急確保チーム

医療体制緊急確保統括官 北川 喜己

2021年2月11日版

新型コロナウイルス感染症対策を含めた 医療提供体制の確保 **3本柱**

目的：医療崩壊による防ぎうる死亡を無くす

①病床確保・入院調整

- コロナ対応病院・病床の更なる拡大(限界あり)
- 入院状況のコントロール
- クラスター発生病院・施設等での施設内療養
- 入院・施設/自宅療養基準等の策定・見直し
- 重症患者・特殊疾患患者等の入院調整 等

+ 自宅・宿泊療養施設での健康観察体制
+ 資機材供給体制 等

新型コロナウイルス
感染症対策



救急医療体制
の維持

②後方病院確保

- 療養型病院等での、退院基準を満たした患者や発症後一定期間経過後の患者受入
- クラスター発生病院・施設等への戻り搬送 等

③クラスター対応

- クラスター拡大防止の指揮支援/技術支援
- 重症患者等の搬送調整
- 施設継続に必要な情報の整理
- スタッフのケア・離職防止(環境整備・風評被害防止・情報共有・心のケア等)
- 医療資材等の支援調整 等

医療体制緊急確保チームによる総合的な体制強化と支援

感染拡大が生じた病院や施設で亡くなる方の5パターン

1. コロナに対する恐怖・混乱から病院・施設運営システムが崩壊し、平常の医療・介護が提供できないことによる死亡
2. 職員負担の増加、感染による職員の減少に伴う、需給バランスの崩壊による医療・介護ケアの質の低下による死亡

マネジメント体制
の確立によって
防げる死亡

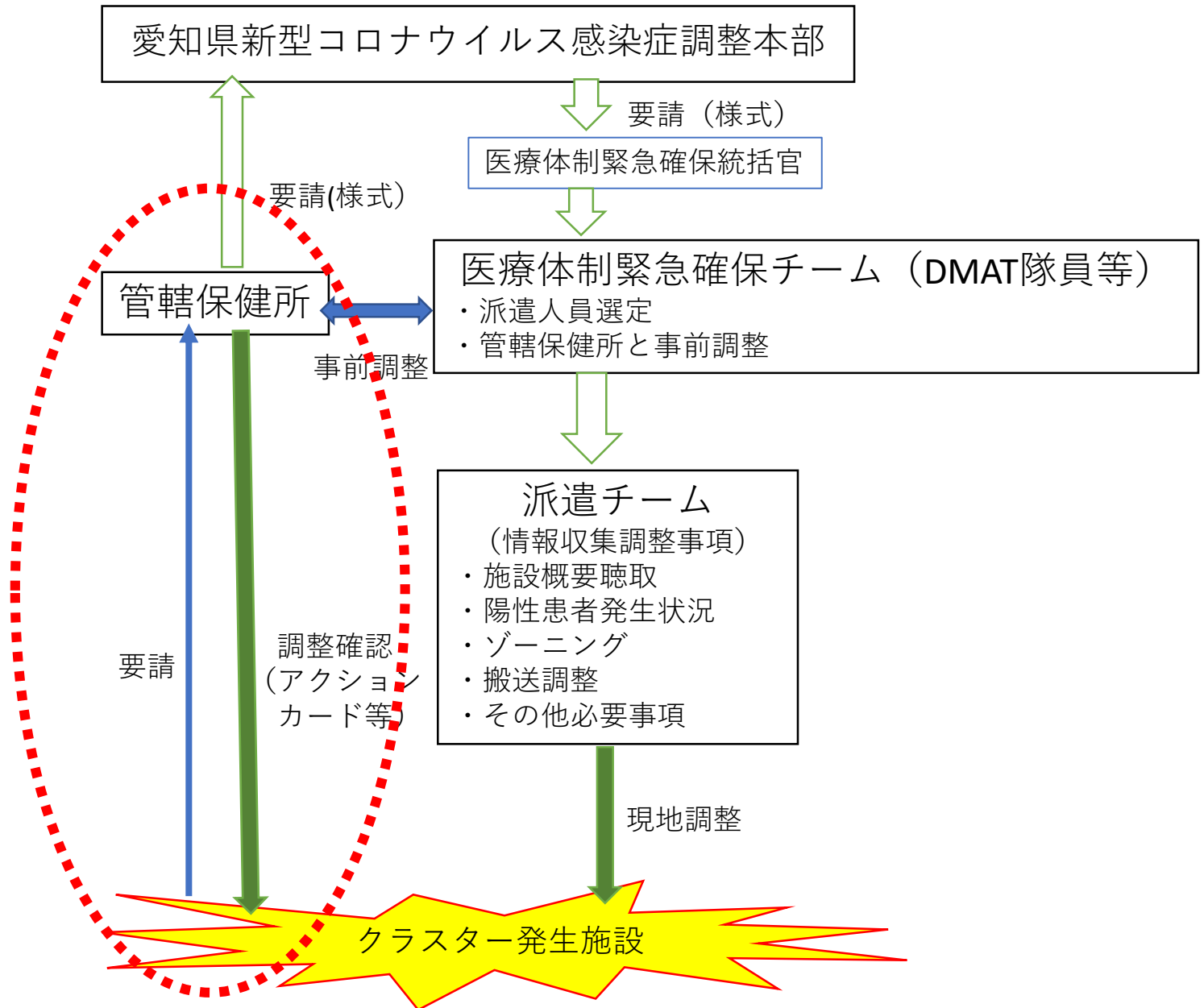
3. 新型コロナウイルス肺炎の典型的な経緯による死亡
(例:7日で重症化、10日で死亡)

感染管理(予防・治療)
によって防げる死亡

4. 元々状態が悪く、何らかの侵襲があれば亡くなるケースでの死亡
5. 新型コロナウイルス感染者のそれ以外の疾患を原因とした死亡

防ぎえない死亡

医療体制緊急確保チーム要請スキーム



病院・施設陽性患者発生時の 対応フロー

陽性患者発生時

- ① 保健所による調査確認（施設規模、施設形態、利用者数、職員数、医師看護師等の勤務形態、濃厚接触者の特定、感染防止策の提案等）
- ② 次スライドのアクションカード等の活用



感染の拡大が見込まれる場合

現地調整

- 保健所
- 医療体制緊急確保チーム（DMAT隊員等）
- 感染管理認定看護師等
- 施設側
 - ・法人代表者
 - ・施設管理者
 - ・医療従事者
 - ・介護主任者、社会福祉士等

アクションカード（概要）

- Step 1 入所者・職員の健康状態把握
- Step 2 PCR・抗原検査実施
- Step 3 ゾーン設定
 - ・ 感染危険区域
 - ・ 境界区域
 - ・ 清潔区域
- Step 4 感染防止の指導（感染危険区域・清潔区域）
- Step 5 陽性患者の搬送

感染の拡大が見込まれる場合は、保健所を通じ必要に応じて医療体制緊急確保チーム（DMAT隊員等）や感染管理認定看護師等を要請することができます。

病院・施設クラスター対応の肝

- ① 緊急医療が必要な患者、入所者の
トリアージ
- ② 病院・施設継続に必要な情報の整理
- ③ 必要な施設内療養・病院搬送支援の
実施
- ④ 職員および入所者の心のケア窓口
等の紹介

①緊急医療が必要な患者、入所者の トリアージ

- コロナ第1波当初は、陽性者は入院が原則（理想）
- 病院が満床となり、徐々に宿泊療養施設入所や自宅療養が増加
- 最近では高齢者や基礎疾患があっても入院が困難で調整に時間が掛かる
- クラスター発生病院・施設でも、無症状者や軽症者はそのまま滞在（施設内療養）となる場合もある
- 但し、**緊急医療が必要な方は早期に高度医療機関に搬送**を実施
- この優先順位付け（トリアージ）・搬送の対応を行うことにより病床全体を効率的に活用できるようになり、**より施設の運用がしやすくなる可能性**がある

②病院・施設継続に必要な情報の整理

- 病院・施設を訪問し困りごとの聴取
- 状況整理と**病院・施設職員へ見える化情報支援**の実施
- 様式を**一元化**して情報のとりまとめ実施（患者一覧表等）

具体的には...

1. 施設概要 →全体像（母数）の把握・整理
 - 病床数・入所者数、形態、職員数、経営母体、陽性者
2. 施設内職員・入院（所）者のリスト →個別状況の把握・整理
 - 氏名、入所場所、陽性確定日、陽性者接触の有無、発症日、既往歴、現病歴、介護度・障害度、経時的健康度
3. 陽性患者リスト →要対応者の把握・整理
 - 氏名・年齢・性別、呼吸状態、血中酸素飽和度(SpO2)、体温(最高)、解熱剤使用の有無、食事摂取・水分摂取状況、本人の入院希望、延命措置の希望、介護度・障害度・認知度、移送方法、その他特記事項
4. 施設図面 →ゾーニングに利用
 - 建物構造、入所場所、共有場所（食堂・風呂等）、階段・EV、詰所等

③必要な施設内療養・病院搬送支援の実施

- 施設内療養支援：

クラスター拡大防止の指揮支援・技術支援や、看護介護職員等の応援、医療資材の支援等により、病院施設機能を維持し、**患者・入所者を継続滞在**させる

- 病院搬送支援：

医療提供が必要な方を他医療機関に搬送し、病院・施設の負荷を減らす

→受入先病床の逼迫度合いにより、**施設内療養・病院搬送をバランスよく組み合わせ**て対応

(all or noneではない！)

④職員および入所者の心のケア窓口等の紹介

- 院内での相談窓口設置
- 愛知県精神保健福祉センター窓口や名古屋市いのちの支援サイト（こころの絆創膏）の活用・周知
- 環境整備（休憩室も考慮したゾーニングなど）
- 職員の士気の維持（情報・目標の共有や労い）
- COVID-19の正しい知識（不安の解消）

医療機関・社会福祉施設等で働いている皆様へ
（医療従事者、介護職員、福祉施設職員等）

医療・福祉の最前線で新型コロナウイルスの対応にご尽力いただき、ありがとうございます。皆様は、疲れない業務・多忙・見過した立たなきなどによって、これまで経験したことがないストレスの中で日々頑張っていると思います。また、皆様とご家族の中には、周囲の状況を理解し、心無い言葉や扱いを受け、辛く苦しい状況下で置かれている方もいらっしゃると思います。このようなストレス状況が続くと、理解や経験年数を問わず、多くの方に心身の変化や不調（不安、イライラしやすくなる、自覚的になる、不眠、食欲不調など）が現れます。これは正常な反応で、決して自分が仕事ができないとか、弱い人間だということではありません。心理的な負担が大きい場合やストレス反応が続く場合は、信頼できる人や専門相談窓口にご相談しましょう。

【ご自身のこころの健康を保つために】

1. **十分な睡眠とバランスのよい食事**を心がけましょう。食事を抜かないようにし、アルコールやタバコの取りすぎには注意しましょう。
2. 電話やSNSなどを通して、家族や友人との**つながり**を保ちましょう。皆さんがその人たちの健康を心配しているように、彼らもあなたの健康を心配しています。お互いにケアし合いましょ。
3. 悩みや不安を一人で抱え込まず、家族・友人・同僚・上司等で信頼できる人に**話しましょう**。信頼の関係を築けることが大切です。
4. 無理をしすぎず体を動かしましょう。また、可能な範囲で**趣味や日頃の時間を**持ちましょう。気持ちを切り替え、リフレッシュすることを目指しましょう。
5. 仕事やシフトの合間にできる**休息**を確保しましょう。
職員・福祉従事者の皆さん ありがとう！！
私も仕事に感謝しています！！
6. 一人でできる範囲を超えた仕事をこなさず、**同僚や上司に助けを求め**ましょう。
7. **これまでうまくいったストレスの対処法**を思い出して、試してみましょう。

医療・福祉従事者とご家族のための、新型コロナウイルスに関するこころの相談窓口

愛知県精神保健福祉センター
 ◎電話番号：052-962-6379
 ◎相談時間：平日 午前9時～正午、午後1時～午後4時30分
昼食や相談可能です。相談の予約は不要です。

※このウェブサイトは、大分県とよかららの福祉センターや福祉サービス、日本赤十字社（愛知県）の協力を得て、WHO/Ministry of Health and Psychological Considerations during the COVID-19 outbreak、WHO/愛知県庁の協力を得て制作されたものです。愛知県精神保健福祉センター（愛知県）制作

新型コロナウイルス感染拡大で不安などを抱えていらっしゃる方へ

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、不安や疲れなどを抱えている方がいらっしゃるのではないのでしょうか。このようなストレスは長く続くこと、長持ち、からだ、考え方に、さまざまな変化があらわれることがあり、以下のような状態は、強いまたは慢性的なストレスを受けた時に、**多くの方に起こりうる、正常な反応**です。これらの反応は、**自然に回復していくことがほとんど**です。

気持ちの変化 <ul style="list-style-type: none"> 不安や緊張が強い イライラする 怒りっぽくなる 気分が落ち込みが激しい 集中力低下 めまろしく感じる 自分を守る 逃げやめ 睡眠が浅くなる 	からだの変化 <ul style="list-style-type: none"> 疲れやすい 食欲不振、過食 寝れない 悪夢、同じ夢を繰り返す
考え方の変化 <ul style="list-style-type: none"> 考えがまとまらない 同じことを繰り返し考える 皮膚、毛髪が落ちやすくなる 	

こころから健康を保つために自分でできること

- ・身の回り環境やバランスのよい食事を心がけ、できる範囲で**生活リズム**を保つようにしましょう。
- ・睡眠や休息を長くすること、時間を決めてできる**目標**を作りましょう。アルコールやタバコの取りすぎには注意しましょう。
- ・電話、メールやSNSなどで、家族や友人との**つながり**を確保しましょう。あなたが周りのためを気にするときは、その人もあなたを心配しています。
- ・人混みや密集した場所を避け、**適度な運動**（ヨガやストレッチなど）を心がけましょう。
- ・必ず必要な外出は、必ず十分な**感染予防対策**をとり、自分の体調や周囲の状況、感染予防対策が十分でない場合は、できるだけ**感染リスクを減らす**ようにしましょう。
- ・これまで効果的だった**ストレス解消法**（ゆっくり入浴するなど）を試してみましょう。

～不安やイライラなど、つらい気持ちが続く時は医療機関にご相談ください～
 気持ちを落ち着かせるために相談したりすることで、つらさが和らぐことがあります。

愛知県精神保健福祉センター

- ◎電話番号：052-962-6377
- ◎相談時間：平日 午前9時～正午、午後1時～午後4時30分
- ◎対象：名古屋府県に居住する愛知県の住民の方
- ・匿名で相談可能です。
- ・新型コロナウイルスに限らず、一般的なこころの悩みに関するご相談も受け付けております。
- ・このウェブサイトは、愛知県精神保健福祉センター（愛知県）制作です。
- ・このウェブサイトは、愛知県精神保健福祉センター（愛知県）からダウンロード可能です。

愛知県精神保健福祉センター（愛知県）制作

名古屋市いのちの支援サイト

こころの絆創膏 ～絆でまもるいのちのあかり～

検索

ホーム > サイトマップ > 文字の拡大縮小

◎名古屋市 様々な悩みに関する相談窓口の情報などを紹介するサイトです。

悩みを抱えたあなたへ	大切な方を心配しているあなたへ	関連相談会 イベント情報	医療機関一覧	自死遺族の方へ	関連リンク集
------------	-----------------	--------------	--------	---------	--------

精神科と心療内科の違いってなに？カウンセリングってどんなもの？
 といった精神科受診について、まず最初に多くの方が感じる疑問にお答えしています。
 また、市内の医療機関一覧も掲載しています。

でも、発生前の予防が最も大事

- 手洗い
- 手指消毒
- マスク・手袋の着脱
- エプロンの着脱
- 感染防護具の使用法
(使いまわしをしないなど)
- 排泄物・嘔吐物処理
- 環境清拭
- 密を避けた食事入浴介助
- 勤務の工夫 (階ごとに班を分けるなど)
- 関係機関の連絡先一覧作成

『正しいやり方』で行わないと、
かえって拡大の恐れも...

行政機関、愛知県看護協会の手引き・リーフレット・DVD等を作成しているので参考に。



まとめ

- クラスター対応では、人的・物的支援や感染制御の技術支援に加え、**早期の指揮支援（マネジメント・情報整理等）**が重要である
- 病床が逼迫している状況では、**施設内療養支援・病院搬送支援**の両輪で対応する必要がある
- 病院搬送支援においては、**緊急医療が必要な方のトリアージ**を行う
- **外部団体等の調整**や**終息までの後方支援**も、病院・施設側の負担軽減・安心に繋がる
- 施設体制維持のためには**職員のケア**も忘れずに！